

## お知らせ

### 《イベントのご案内》

#### ■ 第 6 回 (Final) MBIファミリーデー 2019 『MBI: あの時、あれから、そしてこれから』

MBI同窓会オフィシャル活動の最後を飾るイベントとすべく、MBI10年間(1984-1994)とその後の23年間(1995-2018)を振り返り、時代の変化を再認識し、人生を前向きに生きていく意識を高めて、MBI生・関係者及び家族やこれからの世代の人たちの未来につなげていきましょう！

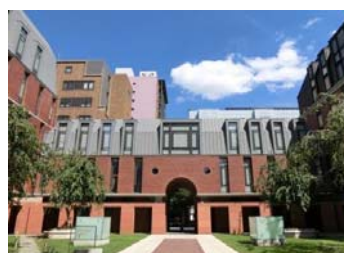
日時: 2019年5月25日(土)午後

場所: 東京大学 本郷キャンパス

伊藤謝恩ホール(伊藤国際学術研究センター地下2階)

アクセス: <http://www.u-tokyo.ac.jp/ext01/iirc/access.html>

参加費: MBI関係者 無料; 友人 3,000円



伊藤国際学術研究センター

### 《スケジュール》

13:30 受付

(MBI卒業生の作品展示会見学@伊藤謝恩ホールホワイエ)

14:10 MBIファミリーデー実行委員長挨拶(大東敏治)

14:15 第1部「あの時、あれから」(95分)

クイズとスライドショー

MBI時代(1984-1994)と現在までのMBI同窓会活動

15:00 あの人は今...渡邊一雄氏(「フィランソロピー」MBI講師)

人生100年時代「やっと見つけた手応えのある生き方—フィランソロピーとボランティア」

落語「替わり目」(三遊亭大王)

(15:50-16:15) (休憩)

16:15 第2部「そしてこれから」(90分)

「ライフステージ・マネジメント・システム」

基調講演 横山禎徳氏(社会システムズ・アーキテクト)(20分)

パネルディスカッション(モデレータ:横山禎徳氏)(60分)

武藤真祐氏(医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック、理事長・院長)

小暮真久氏(TABLE FOR TWO International 代表理事)

服部今日子氏(フィリップス日本代表)

今後のMBI「MBI同窓会からMBI Plazaへ」(10分) (各サークル活動の紹介も含む)

### 第3部 懇談会「ジャズと語らいの夕べ」

会場：多目的ホール、伊藤国際学術記念センター地下2階

17:50 ウェルカムドリンク

18:00 MBI 同窓会会長挨拶

乾杯スピーチ(ゲスト)

ゲスト紹介

18:20 ジャズセッション1

18:30 懇談会(期別)

(19:00 ジャズセッション2)

(19:30 ジャズセッション3)

19:55 閉会の辞

20:00 終了

#### 演奏者：平井トリオ

Kanako“Kana”Tezuka:ドラム、ヴォーカル

田宮美咲:ベース

平井純(MBI 22期生):ピアノ



Kanako “Kana” Tezuka



田宮 美咲



平井 純

## 登壇者プロフィール

### 渡邊 一雄 氏(講演・落語) (わたなべ・かずお)

日本フィランソロピー研究所所長、社会福祉法人奉優会理事、  
社会人落語家三遊亭大王。

MBI講師(「フィランソロピー」講義、1990-1994年)。

一橋大学法学部卒業。マサチューセッツ工科大学スローンスクール卒業。

三菱電機に入社後、三菱セミコンダクターアメリカ社長等を務めた。退職後、岩手県立大学社会福祉学部教授兼国際社会人教育センター長、東京大学医学部研修医講師、川崎医療福祉大学教授、上智大学・琉球大学の非常勤講師、札幌市シニア大学専任講師、日本社会事業大学理事、NHK文化センター講師等でフィランソロピー(社会貢献)論を講じてきた。その後、奉優会特別養護老人ホーム施設長、東大附属病院にこここボランティア代表世話人、日本福祉団基協会会長などを経て、現在は、社会人落語家三遊亭大王としても高座に上がったり、高齢者センターでの「なべさんの元気湧くわく講座」の講師ほか、年間100回以上の講演で全国を飛び回っている。企業・社会・家庭・アカデミズムの視点で、フィランソロピー・ボランティアを語れる数少ない人材として、国内外で高い評価を得ている。

主な著書として『体験的フィランソロピー』(創流出版)、『社会貢献イキイキ講座』(創流出版)、『病院が変わるボランティアが変わる』(はる書房)、『77歳のバケツリスト』(はる書房)などがある。



### 横山 禎徳 氏(講演・モデレータ) (よこやま・よしのり)

社会システムズ・アーキテクト。

MBI講師(「7Sフレームワーク」、「企業変身」などの講義、1984-1994年)。

東京大学工学部建築学科卒業。米国ハーバード大学大学院都市デザイン修士、マサチューセッツ工科大学経営大学院修士(MBA)。

前川国男建築設計事務所等で設計に従事後、1975年マッキンゼー・アンド・カンパニー入社。87年ディレクター、89年から94年まで東京支社長。2002年退職。その後、イグレックSSDI代表として「社会システム・デザイン」という分野の確立、発展に向けて活動する一方、東大EMP企画推進責任者(2014-2017特任教授)、東京大学総長室アドバイザー、県立広島大学経営専門職大学院(HBMS)経営管理研究科長、オリックス顧問、オリックス生命保険社外取締役、エアウィーヴ社外取締役なども兼務している。独立行政法人経済産業研究所(上席研究員)、産業再生機構(非常勤監査役)、三井住友ファイナンシャル・グループ社外取締役、東京電力福島原子力発電所事故調査委員会委員(2012)などを歴任。

主な著書に『東大エグゼクティブ・マネジメント デザインする思考力』、『東大エグゼクティブ・マネジメント 課題設定の思考力』(2冊とも共著、東京大学出版会)、『循環思考』(東洋経済新報社)、『アメリカと比べない日本』(ファーストプレス)、『「豊かなる衰退」と日本の戦略』(ダイヤモンド社)、『マッキンゼー合従連衡戦略』(共著、東洋経済新報社)、『成長創出革命』(ダイヤモンド社)、『コーポレートアーキテクチャー』(共著、ダイヤモンド社)、『企業変身願望—Corporate Metamorphosis Design』(NTT出版)。その他、企業戦略、組織デザイン、ファイナンス、戦略的提携、企業変革、社会システム・デザインに関する小論文記事多数。



## パネリスト

### 武藤 真祐 氏 (むとう・しんすけ)

医療法人社団鉄祐会理事長/株式会社インテグリティ・ヘルスケア代表取締役  
会長/Tetsuyu Healthcare Holdings Pte Ltd. Co-founder & Director。

1996年東京大学医学部卒業。2002年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。2009年早稲田大学大学院ファイナンス研究科修了(MBA)。

2014年 INSEAD Executive MBA。東大病院、三井記念病院にて循環器内科、救急医療に従事後、宮内庁で侍医を務める。その後マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て、2010年、在宅医療を提供する「祐ホームクリニック」を設立した。(2011年に法人化し、医療法人社団鉄祐会となる)震災後の石巻において、在宅診療所祐ホームクリニック石巻、および石巻医療圏 健康・生活復興協議会を立ち上げ、被災後の医療支援、生活支援に取り組む。在宅医療介護の情報連携においては、総務省等省庁事業として ICT プロジェクトを指揮した。2015年には、シンガポールで「Tetsuyu Healthcare Holdings」を設立し、同年8月よりサービス開始。2016年よりオンライン診療システム YaDoc の開発・普及へ取り組む株式会社インテグリティ・ヘルスケアの代表取締役会長に就任。

東京医科歯科大学医学部臨床教授、日本医療政策機構理事。

主な著書に『医の力』(PHP 研究所)、『幸福死のすすめ—自分の家で最期を迎える』(海竜社)、『在宅医療から石巻の復興に挑んだ 731 日間』(日経 BP 社)などがある。



### 小暮 真久 氏 (こぐれ・まさひさ)

TABLE FOR TWO International 代表理事。

1972年生まれ。早稲田大学工学部卒業後、オーストラリアのスインバン工科大で人工心臓の研究を行なう。1999年、同大学修士号取得後、マッキンゼー・アンド・カンパニー東京支社入社。同社米国支社勤務を経て、2007年、NPO

法人・TABLE FOR TWO International を創設し、代表理事に就任。世界の食の

不均衡、および「飢餓」と「肥満」の同時解決を目指す。国内では500社以上が参加する日本最大規模の社会貢献活動に発展、世界の11カ国(米国・香港・イタリアなど)においても活動中。著書『「20円」で世界をつなぐ仕事』を出版(日本能率協会マネジメントセンター、2009年)、ビジネス書大賞2010新人賞を受賞。シュワブ財団・世界経済フォーラム「アジアを代表する社会起業家」、など受賞多数。日本、アフリカ、米国を拠点に活躍中。

